

HOISTA®

SHO-10型

1ton用

HO-10型

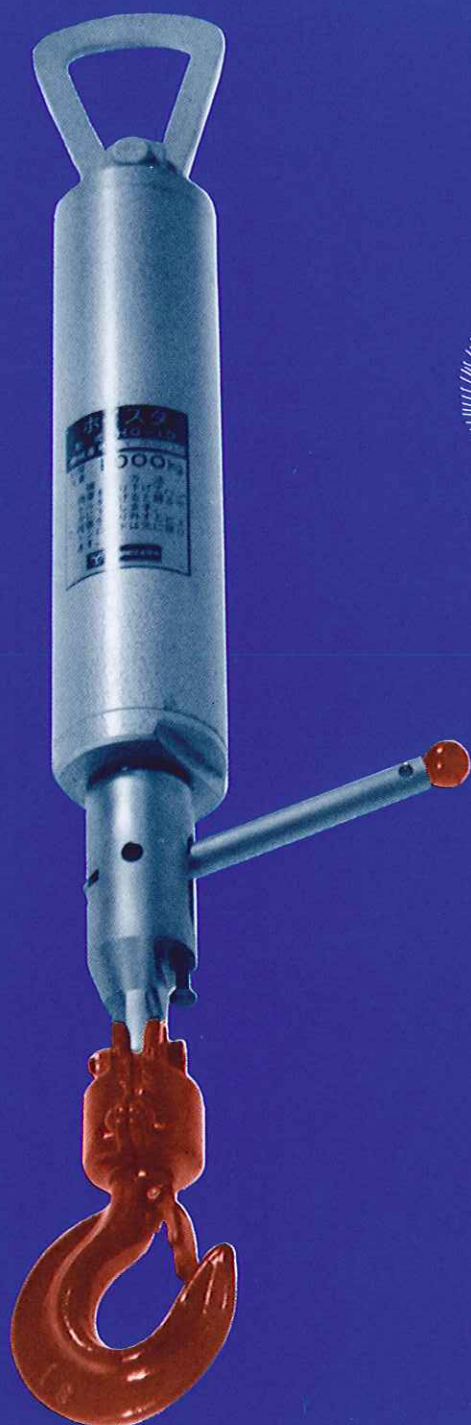
1ton用

HO-30型

3ton用

ホイスタ

35kgから3,000kgまで微調整



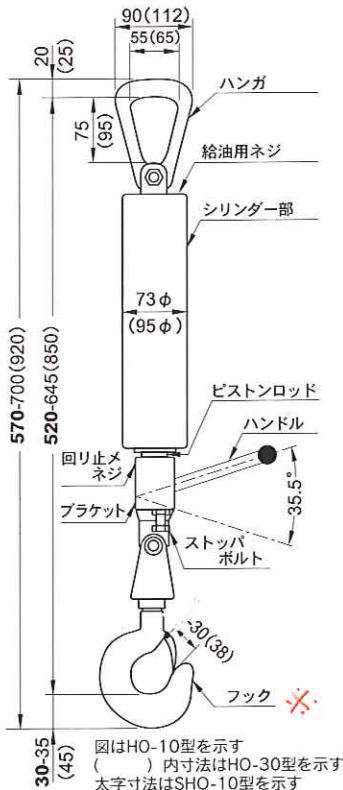
- クレーンに吊り下げるだけで、使用可能。
- 下降速度は緩急自在に微調整できます。
- NC旋盤、マシニングセンター等のワークの取付作業の合理化に最適。
- 組立作業の正確な芯合せ。

ご用命はファクシミリでお願い致します
ファクシミリ番号

(076) 276-6288

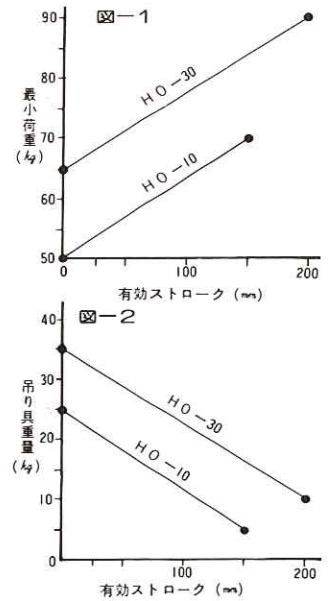


確実な着地作業に HOISTA® SHO-10型・HO-10型・HO-30型



仕様

	SHO-10型	HO-10型	HO-30型
最大荷重	1000kg	1000kg	3000kg
最小荷重 (第1図参照)	35kg	70kg	90kg
吊り具重量 (第2図参照)	0kgまで 完全復元	5kgまで 完全復元	10kgまで 完全復元
ストローク	100mm	150mm	200mm
下降速度	0~150mm/sec 最大荷重時	0~150mm/sec 最大荷重時	0~150mm/sec 最大荷重時
	0~10mm/sec 最小荷重時	0~10mm/sec 最小荷重時	0~10mm/sec 最小荷重時
自重	5.5kg	9.0kg	19.0kg
ピストンロッドの復元	スプリングによる自動復元		
使用油	タービン油#90		
使用温度範囲	0~80℃		
塗装	ハンマネット (シルバトーン)		



※ フックのみ SHO-10、HO-10 共通

特長

- ① ストロークが長い。
- ② 下降速度の調節巾が大きい。
- ③ 下降の最大速度は任意に調節できます。
- ④ 吊り具を吊った状態でも、ストロークは完全に復元します。
- ⑤ フックが軽快に旋回揺動するのでワークの着脱が容易です。
- ⑥ フックの旋回性が良いので、ワーク吊り上げ時に本体が回りません。
- ⑦ 大きなワーク、高い作業位置でもハンドルに紐を付ければラクに広範囲な使用が可能です。
- ⑧ ハンガの形状が大きいので、大型クレーンにも、このまま使えます。

用途

- ① 重量物の定盤や精密機械へのソフトな設置。(キサゲ定盤やマシニング・センターへの設置に最適)
- ② 組立作業での正確な芯合せ。(ミクロン単位の部品組付に)
- ③ センタ作業やチャック作業での無理の無い取付。(精密部品の円筒研削盤へのセンター合わせに)
- ④ 爽雑な場所でのワークのスムーズな取付。
- ⑤ 鑄造の中子組込み作業。(中子、鑄型の組込みに)

操作方法

- 本機をクレーンのフックに吊り下げれば、そのまま直ちに使用できます。
- ① クレーンを操作して本機のフックにワークを吊り下げます。
 - ② クレーンを操作して、ワークを置く場所の上方150mm(HO-10型)又は、200mm(HO-30型)以内に移動します。
 - ③ 本機のハンドルを引き下げてワークを下降させ所定の位置に置きます。この時ハンドルの引き下げ傾きに応じて下降速度が大きくなります。
 - ④ クレーンを操作して、ワークを取り外します。この時本機のフックは自動的に元に戻っています。従って直ちに初めの動作に移る事ができます。
- 補(1) 最大下降速度を小さくしたい時は、ハンドル下部のストップボルトを締め込みハンドルのストロークを小さくすること。
- (2) 所定最小荷重より小さい荷重をご使用になる時は、下降端まで下らず [図1] の有効ストロークだけ使用可能です。
- (3) 所定吊り具重量より重い吊り具をご使用になる時は、上昇端まで復元せず [図2] の有効ストロークだけ使用可能です。
- 注1) 所定最大荷重より重いワークは絶対吊らないで下さい。
- 注2) 本機シリンダー部分は他に衝突もしくは大きな外力等によって変形させ無い様、ご注意ください。
- 注3) ワークを横引きしたり、本機を並列使用するなど曲げ荷重のかかるような使用は絶対さけて下さい。
- 注4) ワークを吊り下げ後は、ワーク下へ絶対体を入れしないで下さい。

保守点検

- 1) 点検項目
 - (1) フックの口が開いたり、ボルトが曲ったり、その他の変形、キズが無い確認して下さい。
 - (2) ネジ部のゆるみ、変形、油モレが無い確認して下さい。但し、ピストンロッドの内周、外周へ油が添じむことがあります。これは異常ではありません。また、プラケットがゆるんでくるとワークを吊った時、ひとりでに下降することがあります。この時プラケットをピストンロッドに一杯に締め込み回り止めネジで十分に止めて下さい。
- 2) 給油

ワークを吊り下げた瞬間、ピストンが20mm以上下降する時は、次の要領で給油して下さい。

 - (1) クレーンに吊り下げたまま、ピストンを一杯に戻す(縮める)。
 - (2) 給油用ネジを取り外し、タービン油#90を30cc(HO-10型)或いは60cc(HO-30型)程度補給して下さい。
 - (3) 給油用ネジに必ずシールテープを巻き、確実に締め込んで下さい。………以上で完了です。
- 3) エアー抜き

ピストンが次第に復元しないようになることがあります。これは異常ではありません。この時には2項「給油」の処置を油を入れなくて行くと、余分のエアーが抜けピストンロッドが元のように復元するようになります。
- 4) 異常の時は当社へ問合せの事。客先での分解及び組付は、絶対しない事。



石川県白山市横江町(鉄工団地)
TEL (076) 276-5577(代)
FAX (076) 276-6288